

令和9（2027）年度 大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻 博士後期課程

学生募集要項

この募集要項は「人文学研究科博士後期課程 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻」に出願するためのものです
人文学研究科の課程については以下の表を参考にしてください。

博士課程

博士	博士後期課程		
	<input type="radio"/> 人文学専攻 <ul style="list-style-type: none"> ● 哲学コース ● グローバルヒストリー・地理学コース ● 文学コース ● 比較・対照言語学コース 	<input type="radio"/> 言語文化学専攻	<input type="radio"/> 外国学専攻
	<input type="radio"/> 日本学専攻 <ul style="list-style-type: none"> ● 基盤日本学コース ● 応用日本学コース 	<input type="radio"/> 芸術学専攻 <ul style="list-style-type: none"> ● アート・メディア論コース ● 美学・文芸学コース ● 音楽学・演劇学コース ● 日本東洋美術史・西洋美術史コース 	

取得
できる
学位

博士前期課程		
<input type="radio"/> 人文学専攻	<input type="radio"/> 言語文化学専攻	<input type="radio"/> 外国学専攻
<input type="radio"/> 日本学専攻	<input type="radio"/> 芸術学専攻	

お知らせ等がある場合は、随時、人文学研究科 Web サイト

<https://www.hmt.osaka-u.ac.jp/exam/guide/>

（入試情報/入試案内/各専攻の詳細な入試情報）でお知らせしますのであわせてご確認ください。



目次

はじめに	1
大阪大学大学院人文学研究科の概要	1
人文学研究科アドミッション・ポリシー	3

I 共通事項 5

1. 大阪大学大学院人文学研究科人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻の修業年限及び修了要件
2. 専攻・コース、選抜区分及び募集人員
- 3-1. 出願資格【一般選抜】
- 3-2. 出願資格【外国人留学生選抜】
- 3-3. 出願資格【社会人特別選抜】
4. 入学料及び授業料
5. 長期履修学生制度
6. 人文学研究科特待留学生制度
7. 個人成績の開示について
8. 個人情報の取扱い
9. 注意事項

II 一般選抜 9

1. 選抜方法
2. 出願手続
3. 出願書類
4. 試験期日及び試験会場
5. 合格者発表
6. 入学手続

【表1】一般選抜 筆記試験の内容

III 外国人留学生選抜 15

1. 選抜方法
2. 出願手続
3. 出願書類
4. 試験期日及び試験会場
5. 合格者発表
6. 入学手続

【表2】外国人留学生選抜 筆記試験の内容

IV 社会人特別選抜 21

1. 選抜方法
2. 出願手続
3. 出願書類
4. 口頭試験（筆記試験）の期日及び会場
5. 合格者発表
6. 入学手続

別紙 24

人文学研究科特待留学生制度について【人文学専攻、日本学専攻基盤日本学コース、芸術学専攻】

各コース・受験分野等問い合わせ先

はじめに

大阪大学大学院人文学研究科は、5つの専攻（人文学／言語文化学／外国学／日本学／芸術学）で構成されています。

人文学研究科の学生募集は、課程・専攻（日本学専攻はコース）ごとに行うため、学生募集要項、入試日程及び選抜方法等がそれぞれ異なりますので注意してください。

この学生募集要項は、人文学研究科 博士後期課程 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻に出願するための学生募集要項です。

大阪大学大学院人文学研究科の概要

大阪大学大学院人文学研究科は、思想・歴史・文学・言語文化・社会・芸術など多領域にわたり超横断的な学びの場を提供し、国際的な相互理解を推進する研究者・高度専門職業人を育成します。

■人文学研究科のミッション

人文学研究科では、安定した教育プログラムを提供する5専攻群（人文学／言語文化学／外国学／日本学／芸術学）とともに、5専攻を横断して研究科全体の研究・教育体制を俯瞰し、共通科目の提供や専攻を超えた交流等を推進する組織として「人文学林」を設置しています。

「人文学林」では、4つの学問分野と4つの地理的エリアを組み合わせ、16に区分された「学術マトリックス」を設けており、教員はその16の区分に配置されています。学生は所属専攻の垣根を超えてそれぞれの興味関心に従ってその区分を選択することで、社会学連携活動を実施したり研究グループを立ち上げたりするなど、専攻を超えた交流や研究の振興、さらには新たな学問分野の創出が可能となります。

■5専攻紹介

人文学専攻 「人間とは何か」を探求する人文学 Humanities の継承と発展

次の4コースにより、「人間性」を探求するとともに、現代の諸課題にも取り組みます。①哲学コース（哲学哲学史、科学技術社会論、臨床哲学、中国哲学、インド学・仏教学）、②グローバルヒストリー・地理学コース（東洋史学、西洋史学、人文地理学）、③文学コース（テキスト表現論 [英米文学、ドイツ文学、フランス文学、中国文学]、テキスト環境論）、④比較・対照言語学コース

言語文化学専攻 今日的な課題に幅広い観点から取り組む

3分野6講座（分野Ⅰ:超領域文化論講座、表象文化論講座、分野Ⅱ:コミュニケーション論講座、第二言語教育学講座、分野Ⅲ:理論言語学・デジタルヒューマニティーズ講座、言語認知科学講座）が連携しつつ、伝統的なディシプリンと新たな研究領域や研究方法論を融合し、言語と文化に関する高度な教養や情報活用能力を修得することで、今日の多文化・多言語社会における国家・民族・文化間の諸問題等に取り組みます。

外国学専攻 24の言語とその地域について多角的・徹底的に学べる

24の言語とそれを基底とする文化一般について、高度な言語運用能力をもとに理論と実践の両面にわ

たり総合的に教授・研究する「外国学研究」を主眼とし、人文社会科学諸分野や学際的アプローチから世界の言語と文化を研究します。①地域文化研究コース（アジア・アフリカ言語文化コース、ヨーロッパ・アメリカ言語文化コース）、②高度専門職業人コース（英語教員リカレント・コース、中国語教員リカレント・コース）

日本学専攻 基盤的研究と応用的展開の双方をカバーする日本最大規模の日本学専攻

基盤日本学コースと応用日本学コースの2コースを擁する日本学専攻は、日本の言語・文化・社会・歴史・文学などを厳密に学問的な方法に基づいて深く探究するとともに、その専門的知見に基づいて日本の抱える今日的課題に果敢に取り組むことのできる人材を育成します。さらに、比較や交流の観点から日本を世界的視野のうちに捉え、日本語・日本文化についての幅広い知見を基礎としてグローバルに活躍できる実践力・応用力を養います。

芸術学専攻 基礎と社会的実践の両方に立脚、国立総合大学最大の芸術学の専攻

4コース（アート・メディア論コース、美学・文芸学コース、音楽学・演劇学コース、日本東洋美術史・西洋美術史コース）から成る芸術学専攻では、他の何ものによっても代替不可能な営みである芸術を、全国的にも類を見ない規模で捉え、専門的・先端的且つ学際的な厚みと多様性を備えた研究・教育活動を行います。これにより、現代社会の諸システムの制約や限界を超え出る可能性・構想力を持った人材を育成します。

■各専攻の入学定員と学位プログラム

専攻	課程(入学定員)	プログラム	取得できる学位
人文学専攻	博士前期課程(47人) 博士後期課程(14人)	人文学プログラム	修士(文学) 博士(文学)
言語文化学専攻	博士前期課程(32人) 博士後期課程(15人)	言語文化学プログラム	修士(言語文化学) 博士(言語文化学)
外国学専攻	博士前期課程(25人) 博士後期課程(11人)	外国学プログラム	修士(言語文化学) 博士(言語文化学)
日本学専攻	博士前期課程(40人) 博士後期課程(18人)	基盤日本学プログラム	修士(文学) 博士(文学)
		応用日本学プログラム	修士(日本語・日本文化) 博士(日本語・日本文化)
芸術学専攻	博士前期課程(17人) 博士後期課程(7人)	芸術学プログラム	修士(文学) 博士(文学)

*教授会の議を経て総長が適当と認めるときは、「修士/博士(学術)」を授与する場合があります。

人文学研究科アドミッション・ポリシー（博士後期課程）

求める人材像

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、人文学研究科は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、伝統的かつ最先端の人文学の知見や、言語と文化に関する高度な専門性と深い学識、教養・デザイン力・国際性を身に付け、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

上記の人材像に合う学生を適正に選抜するために、人文学研究科の5専攻（日本学専攻は各コース）の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。また、社会科学や自然科学の分野の学生、留学生や社会人にも広く門戸を開いています。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

大阪大学のアドミッション・ポリシーにもとづき、かつ本研究科のこの特質にしたがって、各専攻（日本学専攻は各コース）のもとで、修学・研究に対する能力・適性を考査し、選抜します。

■人文学専攻アドミッション・ポリシー（博士後期課程）

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「人文学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

上記の人材像に合う学生を適正に選抜するために、学位プログラム「人文学」では、一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生選抜を実施します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

一般選抜では、博士の学位をめざす上で必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性、研究実績などを判定する口頭試験により選抜します。

社会人特別選抜では、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。

外国人留学生選抜では、本学における修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。

■日本学専攻アドミッション・ポリシー（博士後期課程）

<基盤日本学コース>

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「基盤日本学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、現代日本学、日本史学、考古学、日本文学・日本語史学、基盤日本語学の各分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

上記のような学生を適正に選抜するために、一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生選抜を実施します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

1. 一般選抜では、博士の学位をめざす上で必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性、研究実績などを判定する口頭試験により選抜します。
2. 社会人特別選抜では、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。
3. 外国人留学生選抜では、本学における修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。

■芸術学専攻アドミッション・ポリシー（博士後期課程）

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「芸術学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学位プログラム「芸術学」は、芸術学の諸領域についてみずから深い関心をもって主体的に学び、独創的かつ高度な研究を志す人、また、その学びを社会の様々な領域において活用しようとする人を、学生として求めます。

入学者選抜の基本方針

学位プログラム「芸術学」では、大阪大学、および人文学研究科のアドミッション・ポリシーにもとづき、芸術学領域を構成するアート・メディア論、美学・文芸学、音楽学・演劇学、日本東洋美術史・西洋美術史の4コースの修学・研究に対する能力・適性を考査し、選抜します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

博士後期課程の一般選抜では、博士の学位をめざす上で必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性、研究実績などを判定する口頭試験により選抜します。

社会人については、上記の課程において、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定する社会人特別選抜を実施します。

留学生については、上記の課程において、修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定する外国人留学生選抜を実施します。

※ 教育目標及び各ポリシーの詳細は、人文学研究科 Web サイトをご覧ください。

I 共通事項

1. 大阪大学大学院人文学研究科人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻の修業年限及び修了要件

人文学研究科は、博士課程で、これを前期課程（修士課程として取り扱います）と後期課程に区分しています。後期課程の標準修業年限は3年です。なお、前期課程の標準修業年限は2年です。

人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻の後期課程は、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することをもって修了とします。

2. 専攻・コース、選抜区分及び募集人員

- (1) 本研究科の博士後期課程には、「人文学専攻」、「言語文化学専攻」、「外国学専攻」、「日本学専攻」、「芸術学専攻」の5専攻が設けられており、さらに専攻は、13のコースに分かれています（本要項にて受験できるコースについては最終ページ「各コース・受験分野等問い合わせ先」参照）。
- (2) 本研究科博士後期課程「人文学専攻」、「日本学専攻基盤日本学コース」、「芸術学専攻」の選抜区分は、以下のとおりです。

選抜区分	募集時期	募集人員	備考
一般選抜	年1回 (冬期のみ)	人文学専攻：14名 日本学専攻基盤日本学コース：13名※ 芸術学専攻：7名	原則、我が国の大学・大学院等において教育を受けている外国人留学生で、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格により在留する者を対象とします。 ただし、入学時に在留資格を「留学」に変更できる者を含みます。
外国人留学生選抜	年1回 (冬期のみ)		
社会人特別選抜	年1回 (秋期のみ)		

※博士後期課程日本学専攻の募集人員は、基盤日本学コース13名及び応用日本学コース5名の計18名です。

(注) 一般選抜（冬期）と外国人留学生選抜の併願はできません。

3-1. 出願資格【一般選抜】

一般選抜に出願することができる者は、次の(1)～(8)のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和9年3月までに取得する見込みの者
 - (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに授与見込みの者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに授与見込みの者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに授与見込みの者
 - (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月までに授与見込みの者
 - (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - (7) ※ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）及び令和9年3月末日までに当該者となる見込みの者
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められたもの
 - (8) ※ 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに24歳に達するもの
- ※ 出願資格(7)・(8)に該当する者は、出願資格認定審査が必要なため、事前にお問い合わせのうえ、令和8年10月20日（必着）までに人文学研究科豊中事務部教務係に「出願資格認定願（所定様式）」等を提出してください。

3-2. 出願資格【外国人留学生選抜】

外国人留学生選抜に出願することができる者は、上記3-1のいずれかに該当する外国人留学生としてします。

- ※ 出願資格(7)・(8)に該当する者は、出願資格認定審査が必要なため、事前にお問い合わせのうえ、令和8年10月20日（必着）までに「出願資格認定願（所定様式）」等を提出してください。

3-3. 出願資格【社会人特別選抜】

社会人特別選抜に出願することができる者は、上記3-1のいずれかの資格を有し、かつ出願時までに3年以上の社会人経験のある者としてします。

ただし、出願時において学生（学校教育法第1条に定める学校に正規生として在籍している者）である者は、出願資格を有しません。

- ※ 出願資格(7)・(8)に該当する者は、出願資格認定審査が必要なため、事前にお問い合わせのうえ、令和8年7月2日（必着）までに「出願資格認定願（所定様式）」等を提出してください。

4. 入学料及び授業料

- (1) 入学料 282,000 円
(本学大学院博士前期課程・修士課程及び専門職学位課程を令和9年3月修了見込みの者は、納入を必要としません。)

- (2) 授業料（前期分・後期分共） 267,900 円（年額 535,800 円）
入学料、授業料の金額については、変更することがあります。
また、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
（国費外国人留学生として入学する場合は、入学料、授業料とも納入する必要はありません。）

5. 長期履修学生制度

職業を有する者、出産・育児・介護等を行う者等を対象に、博士後期課程にあつては最長5年間の在学年限で計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを認める制度です。

学生の申請に基づき、本研究科が審査し決定します。申請方法等の詳細については、合格者あて別途通知します。

6. 人文学研究科特待留学生制度（私費外国人留学生として入学を予定する者のみ対象）

人文学研究科では、優秀な留学生の受入れを促進するため、私費外国人留学生を対象に入学試験の機会を通して「特待留学生」の採用を行っています。

特待留学生の採用対象となる入学試験は「博士後期課程外国人留学生選抜」であり、この入学試験の出願において、特待留学生の申請を行い、「博士後期課程外国人留学生選抜」に合格するとともに特待留学生の採用選考で特待留学生にふさわしい優秀な留学生と認められた者について、若干名を特待留学生として採用します。

特待留学生に採用された入学者が受けられる支援（特典）としては、まず、在学中の授業料の全額免除が適用（ただし、適用されるのは博士後期課程標準修業年限3年に限る）されます。このほか、入学後の研究活動等において特待留学生を優先するサポートがいくつか用意されています。

私費外国人留学生として入学予定の志願者は、対象者の条件を満たす限り、特待留学生の申請を行うことができますので、申請方法等を確認するようにしてください。

本制度の申請方法等については[別紙「人文学研究科特待留学生制度について」](#)を確認してください。

7. 個人成績の開示について

本入学試験における個人成績等について、開示を希望する受験者本人からの申請に基づき開示します。代理人による申請は受理しません。詳細は別紙「個人成績の開示について」を確認してください。

開示を希望する場合は各試験の合格者発表日の翌日から起算して2週間以内に、人文学研究科豊中事務部教務係に「入学試験情報開示申請書（所定様式）」等を郵送してください。

8. 個人情報の取扱い

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。
なお、合格者については合格発表日以降、入学後に履修可能な教育プログラムの案内をするために利用することがあります。
また、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導等）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。
- (3) (1)及び(2)の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。
この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部または、一部を提供します。
- (4) (1)及び(2)で得られた個人情報は、上記のほか、「入学者選抜方法及び大学教育の改善」、「大学の管理運営（各種調査・分析、事業計画等）」のために利用することがあります。ただし、個人が特定される形で、その成果が公表されることはありません。

9. 注意事項

- (1) **出願までに、出願しようとするコース・受験分野の教員に連絡し、希望する研究内容等を必ず確認しておいてください（「各コース・受験分野等問い合わせ先」参照）。**

社会人特別選抜においては、筆記試験の有無を確認し、願書の所定欄に記入してください。

- (2) 出願書類等の提出及び照会等は大阪大学大学院人文学研究科豊中事務部教務係宛に行ってください。
(3) 出願手続後は、記載事項及び書類の変更、書類の返却、検定料の払戻しは原則としてできません。
(4) 出願書類は黒ボールペンで記入してください。（「消せるボールペン」不可）
(5) 希望者は、文学研究科で実施した大学院入試を含む直近5回分の入試問題を閲覧することができます。
(ただし、平成29年度入試以降受験者のあった受験分野)

閲覧の可否は、文学研究科 Web サイト（入学試験の過去問題ページ

<https://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/bh2bjb>）で確認してください。

ア. 閲覧期間

【一般選抜・外国人留学生選抜】

通年

（ただし、土・日曜日、祝日及び令和8年8月12日（水）～14日（金）、令和8年12月29日（火）～令和9年1月3日（日）及び問題入替作業期間（5月下旬の1週間程度）を除く。）

※除外日については、変更になる可能性があります。

イ. 閲覧時間

10:00～11:30 及び 12:30～16:00

ウ. 閲覧場所

人文学研究科教育支援室（豊中キャンパス文法経本館1階 人文学研究科側の正面入口入って左側）

- (6) 本学では「外国為替及び外国貿易法」に基づき「大阪大学安全保障輸出管理規程」を定めて貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、合格しても入学が認められない場合や、希望する教育が受けられない又は研究が実施できない等の制限がかかる場合がありますのでご留意ください。詳細は、大阪大学ホームページを確認してください。

大阪大学ホームページ：https://www.osaka-u.ac.jp/ja/research/secur_exp/outline

- (7) 出願書類に虚偽の記載（剽窃・盗用を含む）をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
(8) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、下記期日までに人文学研究科豊中事務部教務係へ問い合わせてください。

秋期試験	冬期試験
令和8年7月2日	令和8年10月20日

本研究科（人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻）の入試情報については、「大阪大学大学院人文学研究科 <https://www.hmt.osaka-u.ac.jp/exam/guide/>（入試情報/入試案内/各専攻の詳細な入試情報）」を参照してください。

お知らせ等がある場合は、随時、人文学研究科 Web サイト

<https://www.hmt.osaka-u.ac.jp/exam/guide/>

（入試情報/入試案内/各専攻の詳細な入試情報）でお知らせしますのであわせてご確認ください。

Ⅱ 一般選抜

(P.6の「[3-1. 出願資格【一般選抜】](#)」を確認すること)

1. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、筆記試験、口頭試験、出願趣意書、出身大学院の学業成績及び論文審査により、総合的に判断して行います。
- (2) 筆記試験については、[【表1】](#)を参照してください。

2. 出願手続

(1) 出願方法

出願は、郵送に限ります。

郵送の際、3.の「出願書類」を一括して封筒に入れ、封筒表面に「博士後期課程入学願書」と朱書きし、書留速達郵便で下記宛先に送付してください。

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町 1-5 大阪大学大学院人文学研究科豊中事務部教務係

(2) 受付期間

令和8年11月30日(月)～令和8年12月4日(金)

【12月4日までの発信局(日本国内)消印のある書留速達郵便に限り受付期間後に到着した場合でも受け付けます。】

【ただし、海外から郵送の場合は、令和8年12月4日(金)必着とします。】

(3) 受験票

受験票は、令和9年1月13日(水)以降に、「受験者注意事項」とともに発送します。試験当日に持参してください。

なお、受験票が令和9年1月20日(水)を過ぎても到着しないときは、人文学研究科豊中事務部教務係へ問い合わせてください。

また、受験票は、入学手続の際に必要となるので、受験後も紛失しないように保管してください。

3. 出願書類 (◎は、本研究科所定のものを使用してください。)

所定様式	出願書類	注意事項等
◎	入学願書・履歴書	<ul style="list-style-type: none"> 志望する受験分野名及びコードを必ず記入してください。 筆記試験において出願時に選択する外国語もしくは試験科目がある場合は、所定欄に記入してください(【表1】参照)。 本学出身者は、学籍番号を必ず記入してください。 ※写真はデータ貼付可 ※不鮮明な写真や顔が判別できない写真は利用できません。 ※写真には加工・修正は施さないでください。
◎	受験者写真票・受験票	<ul style="list-style-type: none"> 志望する受験分野名及びコードを必ず記入してください。 ※写真はデータ貼付可 ※不鮮明な写真や顔が判別できない写真は利用できません。 ※写真には加工・修正は施さないでください。
	修了(見込)証明書(原本)	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学院において作成したもの。
	成績証明書(原本)	※入学願書等に記載する氏名と証明書に記載された氏名が改姓名等により異なる場合には、改姓名の事実を証明できる書類(戸籍抄本等(コピーでも可)を添付してください。)
	出願趣意書(2部)	<ul style="list-style-type: none"> これまでの研究業績について述べ、それを踏まえて志望する分野において予定している研究の計画を記した文章(4,000字以内)。
	修士論文[又はそれに代わる論文](2部)	<ul style="list-style-type: none"> 修士論文[又はそれに代わる論文]のコピーを2部提出してください(志望する専門分野の文学研究科/人文学研究科博士前期課程を令和9年3月に修了見込みの者は、提出不要です)。 修士論文[又はそれに代わる論文]のコピーの提出延期を希望する場合は入学願書2枚目にチェックを入れてください。(注1)
	修士論文(又はそれに代わる論文)の要約(2部)	<ul style="list-style-type: none"> 字数は、自由(志望する専門分野の文学研究科/人文学研究科博士前期課程を令和9年3月に修了見込みの者は、提出不要です)。
	受験票送付用封筒(1通)	<ul style="list-style-type: none"> 長形3号(120×235mm)封筒に出願者本人の宛先を記入した送付票1を貼りつけ、320円分の切手を貼付してください。
	合否通知等用封筒(1通)	<ul style="list-style-type: none"> 角型2号(240×332mm)封筒に出願者本人の宛先を記入した送付票2を貼りつけ、480円分の切手を貼付してください。
◎	検定料(30,000円)(注2、3)	<ul style="list-style-type: none"> 検定料納入システムにより納入してください。 詳細については、別紙「検定料納入システムによる検定料納入方法について」をご確認ください。 振込手数料は払込人負担です。 振込後、検定料収納証明書のPDFファイルをA4サイズで印刷して提出してください。 上記以外の方法(現金・郵便普通為替証書)では、納入(願書を受理)できません。 ※本学大学院博士前期課程・修士課程及び専門職学位課程を令和9年3月に修了見込みの者及び国費外国人留学生として入学する者は、納入を必要としません。
	住民票の写し ※外国人の志願者のみ	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の志願者は市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」の原本を提出してください(コピー不可)。 ※出願者以外の世帯員については、証明不要です。 外国人住民登録をしていない者は、「パスポート」の氏名、(日本入国済の場合は)入国日及び在留資格を記載している箇所の写しを提出してください。 法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。

所定様式	出願書類	注意事項等
	国費外国人留学生証明書	<ul style="list-style-type: none"> 国費外国人留学生として入学する者のみ提出してください。ただし、本学文学研究科又は人文学研究科人文学専攻、日本学専攻基盤日本学コース、芸術学専攻に在学している国費外国人留学生は、提出不要です。
	出願資格(6)に相当する審査合格確認(証明)書類	<ul style="list-style-type: none"> 出願資格(6)で出願の者 出身大学長等が作成(署名)したもので、下記の内容が記載されたもの 【様式例】○○大学としては、本学の学生である◇◇◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。 【添付資料の例】 当該審査の合格の基準 当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料 当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料

(注1) 修士論文等は、令和9年1月5日(火)までに書留速達郵便にて提出してください。令和9年1月5日(火)までの発信局(日本国内)消印があるものについては受け付けますが、それ以降の場合は出願書類不備として、原則、出願を受理しません。

ただし、海外から郵送の場合は、令和9年1月5日(火)必着とします。

(注2) 出願期間の最終日から3年前以内に発生した災害救助法(昭和22年法律第118号)が適用された災害において被災した志願者は検定料免除の申請が可能です。申請方法は下記URL参照。

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information>

(注3) 納入された検定料は次の場合を除き返還できません。

- (a) 出願書類を提出しなかった場合、又は受理されなかった場合
- (b) 検定料を誤って(二重に)納入した場合

4. 試験期日及び試験会場

令和9年1月31日(日)大阪大学豊中キャンパス人文学研究科試験場にて、下記のとおり実施します。

なお、受験分野によっては、志願者の数が多い場合、口頭試験を1月31日(日)と2月1日(月)に分けて実施することもあります。その場合、口頭試験を2月1日(月)に実施する志願者には事前に通知しますので、ご注意ください。

試験科目	試験時間
筆記試験	10:00~12:00(120分)
口頭試験	14:00~

口頭試験には、提出した論文のコピーを1部持参してください。

5. 合格者発表

令和9年2月12日(金)13:00

人文学研究科掲示場(大阪大学豊中キャンパス文法経本館1階教務係前)に合格者の受験番号を発表し、受験者全員に郵送(発表日当日に投函)にて合否を通知します。

(電話、メール等による合否の問い合わせには応じません。)

6. 入学手続

(1) 入学手続期間

令和9年3月1日（月）～3月5日（金）

(2) 入学手続方法

入学手続は、必要な書類の提出及び入学料の納入により行います。

入学手続に関する詳細は、合格者に別途通知します。

【表1】一般選抜

専攻	コース	受 験 分 野	筆 記 試 験
人文学専攻	哲学	哲学 哲学史	外国語（英語・独語から1言語を出願時に選択）と専門に関する試験
		科学技術社会論	専門（英語による論述能力の判定を含む）に関する試験
		臨床哲学	外国語（英語・独語・仏語から1言語を出願時に選択）と専門に関する試験
		中国哲学	漢語（古文・現代文）および中国思想・文化に関する試験
		インド学・仏教学	専門（独語とサンスクリット語の語学力を含む）
	グローバル ヒストリー ・ 地理学	東洋史学	外国語（英語・独語・仏語・露語・中国語から2言語を出願時に選択）に関する試験【英語・独語・仏語・露語は中辞典程度の辞書持込可、中国語は不可】
		西洋史学	研究に必要な外国語能力（英語・独語・仏語から1言語を出願時に選択）および専門知識に関する試験
		人文地理学	外国語（英語・独語・仏語から1言語を出願時に選択【中辞典程度の辞書持込可】）と専門試験
	文学	中国文学	中国語、ならびに中国文学に関する専門知識
		英米文学	外国語（英語・独語・仏語から1言語を出願時に選択）、英語読解力、英作文能力ならびに専門知識
		ドイツ文学	外国語（英語・仏語から1言語を出願時に選択）、ドイツ語の読解力と表現力ならびに専門知識
		フランス文学	外国語（英語・独語から1言語を出願時に選択）、フランス語の読解力、フランス語による論述能力、フランス文学の専門知識
		テキスト環境論	専門（英語力を含む）に関する試験
	比較・対照言語学	比較・対照言語学	外国語（英語・独語・仏語から1言語を出願時に選択）、英文読解力、英作文能力ならびに専門知識
	日本学専攻	基盤 日本学	現代日本学
日本史学			専門（史料読解を含む）
考古学			外国語（英語）と専門に関する試験【遺物実測道具を持参すること】
日本文学・日本語史学			専門（古文読解を含む） ※出願時、日本文学・日本語史学いずれかの問題を選択する
基盤日本語学			外国語（英語）の読解力を含め、日本語学の専門学力を判定する試験

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

専攻	コース	受 験 分 野	筆 記 試 験
芸 術 学 専 攻	アート・ メディア論	アート・メディア論	研究遂行に必要な専門知識や能力を、母国語以外の言語能力も含め多方面から問う。なお、言語の選択については、出願前に担当教員に連絡をとって相談すること。
	美 学・ 文 芸 学	美 学	① 美学・芸術学の基礎知識を問う試験。 ② 美学・芸術学に関わる英文の読解力を問う試験。 ③ 美学・芸術学に関連して論理構成力を問う試験。
		文 芸 学	英語と専門に関する試験
	音 楽 学 ・ 演 劇 学	音 楽 学	英語・資料読解、および専門に関する試験
		演 劇 学	英語・資料読解、および専門に関する試験
	日 本 東 洋 美 術 史・ 西 洋 美 術 史	日 本 東 洋 美 術 史	専門知識、研究遂行のための適性や能力を問う試験。
		西 洋 美 術 史	外国語（英語・独語・仏語・伊語・スペイン語から2言語を出願時に選択）。なお、上記5言語以外の外国語を選択希望する者は、原則として出願の2ヶ月前までに担当教員に連絡をとって相談すること。

注1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

Ⅲ 外国人留学生選抜

(P.5「[2. 専攻・コース、選抜区分及び募集人員](#)」およびP.6「[3-2. 出願資格【外国人留学生選抜】](#)」を確認すること)

1. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、筆記試験、口頭試験、出願趣意書、出身大学院の学業成績及び論文審査により、総合的に判断して行います。
- (2) 筆記試験については、[【表2】](#)を参照してください。

2. 出願手続

(1) 出願方法

出願は、郵送に限ります。

郵送の際、3. の「出願書類」を一括して封筒に入れ、封筒表面に「[博士後期課程（外国人留学生）入学願書](#)」と朱書きし、書留速達郵便で下記宛先に送付してください。

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町 1-5 大阪大学大学院人文学研究科豊中事務部教務係

(2) 受付期間

令和 8(2026)年 11 月 30 日（月）～令和 8(2026)年 12 月 4 日（金）

【12 月 4 日までの発信局（日本国内）消印のある書留速達郵便に限り受付期間後に到着した場合でも受け付けます。】

【ただし、海外から郵送の場合は、令和 8(2026)年 12 月 4 日（金）必着とします。】

(3) 受験票

受験票は、令和 9(2027)年 1 月 13 日（水）以降に、「受験者注意事項」とともに発送します。試験当日に持参してください。

なお、受験票が令和 9(2027)年 1 月 20 日（水）を過ぎても到着しないときは、人文学研究科豊中事務部教務係へ問い合わせてください。

また、受験票は、入学手続の際に必要となるので、受験後も紛失しないように保管してください。

3. 出願書類 (◎は、本研究科所定のものを使用してください。)

所定様式	出願書類	注意事項等
◎	入学願書・履歴書	<ul style="list-style-type: none"> ・志望する受験分野名及びコードを必ず記入してください。 ・筆記試験において出願時に選択する外国語もしくは試験科目がある場合は、所定欄に記入してください(【表2】参照)。 ・本学出身者(研究生を含みます)は、必ず学籍番号を記入してください。 ※写真はデータ貼付可 ※不鮮明な写真や顔が判別できない写真は利用できません。 ※写真には加工・修正は施さないでください。
◎	受験者写真票・受験票	<ul style="list-style-type: none"> ・志望する受験分野名及びコードを必ず記入してください。 ※写真はデータ貼付可 ※不鮮明な写真や顔が判別できない写真は利用できません。 ※写真には加工・修正は施さないでください。
	修了(見込)証明書(原本)	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学院において作成したもの。 ・日本語または英語以外の場合は、日本語訳も提出してください。
	成績証明書(原本)	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学院において作成したもの。 ・日本語または英語以外の場合は、日本語訳も提出してください。
	出願趣意書(2部)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究業績について述べ、それを踏まえて志望する分野において予定している研究の計画を記した文章(4,000字以内)。
	修士論文[又はそれに代わる論文](2部)	<ul style="list-style-type: none"> ・修士論文[又はそれに代わる論文]のコピーを2部提出してください(志望する専門分野の文学研究科/人文学研究科博士前期課程を令和9(2027)年3月に修了見込みの者は、提出不要です)。 ・修士論文[又はそれに代わる論文]のコピーの提出延期を希望する場合は入学願書2枚目にチェックを入れてください。(注1) ・提出した論文は、返却しません。
	修士論文(またはそれに代わる論文)の要約(2部)	<ul style="list-style-type: none"> ・字数は、自由です。 ・志望する専門分野の文学研究科/人文学研究科博士前期課程を令和9(2027)年3月に修了見込みの者は、提出不要です。
	受験票送付用封筒(1通)	<ul style="list-style-type: none"> ・長形3号(120×235mm)封筒に出願者本人の宛先を記入した送付票1を貼りつけ、320円分の切手を貼付してください。
	合否通知等用封筒(1通)	<ul style="list-style-type: none"> ・角型2号(240×332mm)封筒に出願者本人の宛先を記入した送付用2を貼りつけ、480円分の切手を貼付してください。
◎	検定料(30,000円)(注2、3)	<ul style="list-style-type: none"> ・検定料納入システムにより納入してください。 ・詳細については、別紙「検定料納入システムによる検定料納入方法について」をご確認ください。 ・振込手数料は払込人負担です。 ・振込後、検定料収納証明書のPDFファイルをA4サイズで印刷して提出してください。 ・上記以外の方法(現金・郵便普通為替証書)では、納入(願書を受理)できません。 <p>※本学大学院博士前期課程・修士課程及び専門職学位課程を令和9(2027)年3月に修了見込みの者及び国費外国人留学生として入学する者は、納入を必要としません。</p>
	住民票の写し	<ul style="list-style-type: none"> ・市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「<u>住民票の写し</u>」の原本を提出してください(コピー不可)。 ※出願者以外の世帯員については、証明不要です。 外国人住民登録をしていない者は、「パスポート」の氏名、(日本入国済の場合は)入国日及び在留資格を記載している箇所の写しを提出してください。

所定様式	出願書類	注意事項等
	国費外国人留学生証明書	<ul style="list-style-type: none"> 国費外国人留学生のみ提出してください。 ただし、本学文学研究科又は人文学研究科人文学専攻、日本学専攻基盤日本学コース、芸術学専攻に在学している国費外国人留学生は、提出不要です。
	出願資格(6)に相当する審査合格確認(証明)書類	<p>出願資格(6)で出願の者</p> <ul style="list-style-type: none"> 出身大学長等が作成(署名)したもので、下記の内容が記載されたもの <p>【様式例】□□大学としては、本学の学生である◇◇◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。</p> <p>【添付資料の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該審査の合格の基準 当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料 当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料

(注1) 修士論文等は、令和9(2027)年1月5日(火)までに書留速達郵便にて提出してください。令和9(2027)年1月5日(火)までの発信局(日本国内)消印があるものについては受け付けますが、それ以降の場合は出願書類不備として、原則、出願を受理しません。

ただし、海外から郵送の場合は、令和9(2027)年1月5日(火)必着とします。

(注2) 出願期間の最終日から3年前以内に発生した災害救助法(昭和22年法律第118号)が適用された災害において被災した志願者は検定料免除の申請が可能です。申請方法は下記URL参照。

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information>

(注3) 納入された検定料は次の場合を除き返還できません。

(a) 出願書類を提出しなかった場合、又は受理されなかった場合

(b) 検定料を誤って(二重に)納入した場合

4. 試験期日及び試験会場

令和9(2027)年1月31日(日)大阪大学豊中キャンパス人文学研究科試験場にて下記のとおり実施します。

なお、受験分野によっては、志願者の数が多くなった場合、口頭試験を1月31日(日)と2月1日(月)に分けて実施することもあります。その場合、口頭試験を2月1日(月)に実施する志願者には事前に通知しますので、ご注意ください。

試験科目	試験時間
筆記試験	10:00~12:00(120分)
口頭試験	14:00~

※ 口頭試験には、提出した論文のコピーを1部持参してください。

5. 合格者発表

令和9(2027)年2月12日(金)13:00

人文学研究科掲示場(大阪大学豊中キャンパス文法経本館1階教務係前)に合格者の受験番号を発表し、受験者全員に郵送(発表日当日に投函)にて合否を通知します。

(電話、メール等による合否の問い合わせには応じません。)

6. 入学手続

(1) 入学手続期間

令和9(2027)年3月1日(月)～3月5日(金)

(2) 入学手続方法

入学手続は、必要な書類の提出及び入学料の納入により行います。

入学手続に関する詳細は、合格者に別途通知します。

外国人留学生選抜受験者へのお知らせ

重要

大学院博士後期課程の合格発表後には、大阪大学文学部・人文学研究科 私費外国人留学生（研究生）試験への出願ができませんので、注意してください

本研究科大学院博士後期課程外国人留学生選抜に不合格となった場合に、私費外国人留学生（研究生）として、令和9(2027)年4月に大阪大学文学部又は人文学研究科に入学を希望される方は、あらかじめ大阪大学文学部又は本研究科の私費外国人留学生（研究生）試験に出願をしておいてください。

なお、本学文学部・本研究科私費外国人留学生（研究生）の出願にあたっては、事前にアドミッション支援デスク（AAD）への申請が必要となります。

下記の研究生募集要項を熟読してください。

○「令和9(2027)年度文学部・人文学研究科私費外国人留学生（研究生）募集要項」

HP掲載時期：

令和8(2026)年7月(予定)

<https://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/research-student/20250711>

○AADによる事前申請：

令和8(2026)年7月中旬～9月中旬(予定)

私費外国人留学生（研究生）出願に関する問い合わせ先

大阪大学人文学研究科豊中事務部教務係

Tel 06-6850-5084

※上記記載の“人文学研究科”はここでは人文学専攻、日本学専攻基盤日本学コース、芸術学専攻のことを指します。

【表2】外国人留学生選抜

専攻	コース	受 験 分 野	筆 記 試 験
人 文 学 専 攻	哲 学	哲 学 哲 学 史	哲学および哲学史に関する知識・思考力を問う。
		科 学 技 術 社 会 論	専門（英語による論述能力の判定を含む）に関する試験
		臨 床 哲 学	臨床哲学・倫理学の基礎的知識および思考力を問う。また、研究上必要な語学力（英語・独語・仏語のうち1言語を出願時に選択）を問う。
		中 国 哲 学	漢語（古文・現代文）および中国思想・文化に関する試験
		インド学・仏教学	インド学・仏教学に関する専門学力（独語とサンスクリット語の語学力を含む）を問う。
	グローバル ヒストリー ・ 地理学	東 洋 史 学	専門学力について、日本語力・英語力も含めて判断する試験を行う【英語には中型の辞書持込可】。
		西 洋 史 学	西洋史学の専門知識に関する試験を行う。
		人 文 地 理 学	専門知識（英語力を含む）および今後の研究計画に関する試験を行う（中辞典程度の英語辞書持込可）。
	文 学	中 国 文 学	中国文学の専門学力を判定する試験
		英 米 文 学	日本語で学術的な討論が行える十分な日本語運用能力をもつことを必要とする。
		ド イ ツ 文 学	ドイツ文学に関する専門知識およびドイツ語の表現力と読解力を問う。
		フ ラ ン ス 文 学	フランス文学に関する専門知識およびフランス語の表現力と読解力を問う。
		テ ク ス ト 環 境 論	英語力を含む専門学力を判定する試験
	比較・対照 言語学	比較・対照言語学	言語学に関する専門知識および英語の表現力と読解力を問う。
	日 本 学 専 攻	基 盤 日 本 学	現 代 日 本 学
日 本 史 学			日本史学の専門知識に関する試験を行う。
考 古 学			専門学力について、日本語力・英語力も含めて判断する試験を行う。
日本文学・日本語史学			専門（古文読解を含む） ※出願時、日本文学・日本語史学いずれかの問題を選択する。
基 盤 日 本 語 学			日本語の読解力を含め、日本語学の専門学力を判定する試験を行う。

注1)「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

専攻	コース	受 験 分 野	筆 記 試 験
芸 術 学 専 攻	アート・ メディア論	アート・メディア論	研究遂行に必要な専門知識や能力を、日本語および母国語以外の言語なども含め多方面から問う。なお、母国語以外の言語の選択については、出願前に担当教員に連絡をとって相談すること。
	美 学・ 文 芸 学	美 学	① 美学・芸術学の基礎知識を問う試験。 ② 美学・芸術学に関わる英文の読解力を問う試験。 ③ 美学・芸術学に関連して論理構成力を問う試験。
		文 芸 学	専門についての学力を、日本語および母国語以外の言語なども含め多方面から問う。
	音 楽 学 ・ 演 劇 学	音 楽 学	専門知識、研究遂行のための適性や能力を問う試験。
		演 劇 学	専門についての学力を、日本語および母国語以外の言語なども含め多方面から問う。
	日 本 東 洋 美 術 史・ 西 洋 美 術 史	日 本 東 洋 美 術 史	専門知識、研究遂行のための適性や能力を問う試験。
		西 洋 美 術 史	専門についての学力を、日本語及び母国語以外の言語なども含めた方面から問う。

注 1) 「辞書持込可」とある場合、電子辞書は含みません。

注 2) 辞書に関する記載のない専門分野・受験分野は、辞書持込不可とします。

IV 社会人特別選抜

(P.6の「3-3. 出願資格【社会人特別選抜】」を確認すること)

1. 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類審査及び出願趣意書・研究業績に対する口頭試験により、総合的に判断して行います。

ただし、コース・受験分野によっては、筆記試験を課す場合もあります。

2. 出願手続

(1) 出願方法

出願は、郵送に限ります。

郵送の際、3.の「出願書類」を一括して封筒に入れ、封筒表面に「博士後期課程（社会人特別選抜）入学願書」と朱書きし、書留速達郵便で下記宛先に送付してください。

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町 1-5 大阪大学大学院人文学研究科豊中事務部教務係

(2) 受付期間

令和8年7月29日（水）～令和8年8月6日（木）

【8月6日までの発信局（日本国内）消印のある書留速達郵便に限り受付期間後に到着した場合でも受け付けます。】

【ただし、海外から郵送の場合は、令和8年8月6日（木）必着とします。】

(3) 受験票

受験票は、令和8年8月27日（木）以降に、「受験者注意事項」とともに発送します。試験当日に持参してください。

なお、受験票が令和8年9月7日（月）を過ぎても到着しないときは、人文学研究科豊中事務部教務係へ問い合わせてください。

また、受験票は、入学手続の際に必要なとなるので、受験後も紛失しないように保管してください。

3. 出願書類 (◎は、本研究科所定のものを使用してください。)

所定 様式	出願書類	注 意 事 項 等
◎	入学願書・履歴書	・志望する受験分野名及びコードを必ず記入してください。 ※写真はデータ貼付可
◎	受験者写真票・受験票	※不鮮明な写真や顔が判別できない写真は利用できません。 ※写真には加工・修正は施さないでください。
	修了証明書 (原本)	・出身大学院において作成したもの。 ※入学願書等に記載する氏名と証明書に記載された氏名が改姓名等により異なる場合には、改姓名の事実を証明できる書類(戸籍抄本等(コピーでも可))を添付してください。
	成績証明書 (原本)	
	出願趣意書 (2部)	・これまでの研究業績について述べ、それを踏まえて志望する分野において予定している研究の計画を記した文章(4,000字以内)。
	研究業績 (2部)	・志望する受験分野と密接に関連する内容の論文(3点以内)。 ・業績一覧を添付してください。
	受験票送付用封筒 (1通)	・長形3号(120×235mm)封筒に出願者本人の宛先を記入した送付票1を貼りつけ、320円分の切手を貼付してください。
	可否通知等用封筒 (1通)	・角型2号(240×332mm)封筒に出願者本人の宛先を記入した送付票2を貼りつけ、480円分の切手を貼付してください。
◎	検定料(30,000円) (注1、2)	・検定料納入システムにより納入してください。 詳細については、別紙「検定料納入システムによる検定料納入方法について」をご確認ください。 ・振込手数料は払込人負担です。 ・振込後、検定料収納証明書のPDFファイルをA4サイズで印刷して提出してください。 ・上記以外の方法(現金・郵便普通為替証書)では、納入(願書を受理)できません。 ・国費外国人留学生として入学する者については、納入を必要としません。
	住民票の写し ※外国人の志願者のみ	・外国人の志願者は市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「 <u>住民票の写し</u> 」の原本を提出してください(コピー不可)。 ※出願者以外の世帯員については、証明不要です。 外国人住民登録をしていない者は、「パスポート」の氏名、(日本入国済の場合は)入国日及び在留資格を記載している箇所の写しを提出してください。 法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。
	国費外国人留学生証明書	・国費外国人留学生として入学する者のみ提出してください。
	出願資格(6)に相当する審査合格確認(証明)書類	・出願資格(6)で出願の者 ・出身大学長等が作成(署名)したもので、下記の内容が記載されたもの 【様式例】□□大学としては、本学の学生である◇◇◇◇氏は、「(審査名称)」に合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有する者であることを確認し、報告いたします。また、当該審査に関する以下の添付資料を同封します。 【添付資料の例】 ・当該審査の合格の基準 ・当該審査の合格と当該大学における修士の学位の授与要件の関係を示す資料 ・当該審査に合格した者と当該大学に編入学した他の大学の修士の学位を有する者の当該大学における博士の学位を授与するプログラムにおける取扱いの関係を示す資料

(注1) 出願期間の最終日から3年前以内に発生した災害救助法(昭和22年法律第118号)が適用された災害において被災した志願者は検定料免除の申請が可能です。申請方法は下記 URL 参照。

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information>

(注2) 納入された検定料は次の場合を除き返還できません。

- (a) 出願書類を提出しなかった場合、又は受理されなかった場合
- (b) 検定料を誤って(二重に)納入した場合

4. 口頭試験(筆記試験)の期日及び会場

令和8年9月23日(水) 大阪大学豊中キャンパス人文学研究科試験場にて、下記のとおり実施します。

試験科目	試験時間
口頭試験 (筆記試験)	10:30~

口頭試験には、提出した論文のコピーを1部持参してください。

5. 合格者発表

令和8年10月9日(金) 13:00

人文学研究科掲示場(大阪大学豊中キャンパス文法経本館1階教務係前)に合格者の受験番号を発表し、受験者全員に郵送(発表日当日に投函)にて合否を通知します。

(電話、メール等による合否の問い合わせには応じません。)

6. 入学手続

(1) 入学手続期間

令和9年3月1日(月)~3月5日(金)

(2) 入学手続方法

入学手続は、必要な書類の提出及び入学料の納入により行います。

入学手続に関する詳細は、合格者に別途通知します。

人文学研究科特待留学生制度について

【人文学専攻、日本学専攻基盤日本学コース、芸術学専攻】

1) 対象者

令和 9(2027)年4月1日時点で以下のすべてに該当する者

- ① 在留資格が「留学」である者。
- ② 国費外国人留学生、外国政府派遣留学生等により授業料の支援を受けていない者。
- ③ 民間奨学金等により、授業料支援を目的とした授業料相当額の支援を受けていない者。
- ④ 大阪大学人文学研究科(人文学専攻、日本学専攻基盤日本学コース、芸術学専攻)博士後期課程外国人留学生選抜合格者として入学する者。

※申請後に①～④のいずれかに該当しなくなったときは、速やかに連絡してください。

連絡先 大阪大学人文学研究科豊中事務部教務係 jinbun-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp

2) 申請方法・提出書類

申請を希望する者は、博士後期課程(外国人留学生選抜)の出願時に、入学願書の「特待留学生授業料免除制度」欄“申請する”にチェックしてください。

提出書類 1 から 3 については、クリップ止めもしくはクリアファイルに入れ、博士後期課程(外国人留学生選抜)の出願時に同封、もしくは令和 9(2027)年 1 月 12 日必着で郵送、または直接人文学研究科豊中事務部教務係に提出してください。

※郵送の場合は、必ず書留郵便とし、令和 9(2027)年 1 月 12 日必着としてください。

※受理期限後に到着したものは受理しません。ただし、令和 9(2027)年 1 月 10 日以前の発信局(日本国内)消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

[※所定様式は Web サイト

https://www.let.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/examination-category/hakase_koki に掲示します]

提出書類

1. 業績書(以下の項目について記載すること)[※所定様式]
 - 著書、論文(査読の有無を明記のこと)、その他出版物
 - 学会発表
 - 受賞歴
 - 奨学金・研究費の獲得状況
2. 研究計画(日本語または英語)[※所定様式]
 - 日本語 6,000 字、英語 2,500 語程度(A4 用紙で提出のこと)。
3. 申請者の研究をよく理解する研究者の推薦状(日本語または英語で作成、厳封されたもの)1 通
 - ・所属機関のレターヘッド付公用箋を用いること。
 - ・自筆署名を伴うこと。
 - ・申請者との関係について明記すること。

3) 選考方法

選考は、提出書類および面接により総合的におこないます。

書類選考は、業績書、および研究計画書によりおこないこれまでの研究活動と研究計画の優秀性を評価します。

面接においては、候補者のコミュニケーション能力、研究準備の状況・将来性を評価します。

1. 書類選考により面接対象者を決定します。
2. 書類選考の結果および面接時間は、令和 9(2027)年 1 月 31 日(博士後期課程入学試験の当日)に教務係で通知します。申請者は、必ず同日 15 時から 17 時までのあいだに通知を受けてください。
3. 面接は、令和 9(2027)年 2 月 1 日(博士後期課程入学試験の翌日)におこないます。

4) 採用結果の通知

特待留学生に採用された者には、入学試験の結果通知の送付とともに「人文学研究科特待留学生の採用決定通知書」を送付します。

5) 入学後の支援予定及び義務

- ・在学中(ただし標準修業年限の間に限る)の授業料を全額免除します。
 - ・「特待留学生学会発表補助制度」により、日本国内で開催される学会等で研究発表を行う特待留学生を対象に旅費の全部または一部の補助を審査のうえ実施します。
 - ・「グローバル人文学研究交流会」での研究発表が期待されています。
- ※詳細は、大阪大学大学院人文学研究科ウェブページに掲載しています。

<https://www.hmt.osaka-u.ac.jp/exam/guide/ssscholarship/>

6) 留意事項

1. 特待留学生は、ふさわしい該当者がいない場合には「採用者なし」となることもあります。
2. 特待留学生授業料免除の対象期間は、博士後期課程の標準修業年限3年の間に限ります。ただし、在学中に休学した場合、休学した期間は授業料免除の対象期間に含まれ、復学後に授業料免除の対象期間の繰り延べを行うことはできません。また、博士後期課程入学時から標準修業年限3年を経過した後は、特待留学生授業料免除制度の対象外となります。
3. 特待留学生に採用されても、入学料は免除とはなりません。
4. 次の場合は、特待留学生授業料免除の実施が停止されます。
 - ①「留学」の在留資格を取得せずに渡日したとき、または「留学」の在留資格が他の在留資格に変更になったとき。
 - ②標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。
 - ③学則等に則り、停学等の懲戒処分を受けたとき。
 - ④他の制度により授業料免除を受けたとき。
 - ⑤学業成績等により本制度による免除対象者としてふさわしくないと大学が判断したとき。

7) その他

大阪大学では、特待留学生授業料免除制度以外にも、経済的困難を有する学生を対象とした授業料免除等制度があります。特待留学生に採用されなかった場合でも、経済的困難を有する学生を対象とした授業料免除等制度に申請することは可能です。詳細は入学試験の結果通知を送付する際にお知らせします。

各コース・受験分野等問い合わせ先

(大阪大学豊中地区代表電話番号) 06-6850-6111

※内線番号が 5000 番台のものはダイヤルインの番号で、学外からは 06-6850-5×××で利用できます。
 ※内線番号が 5000 番台以外の上記代表電話番号におかけのうえ、内線番号をお伝えください。

専攻	コース	受験分野	内線番号
人文学専攻	哲学	哲学 哲学史	5095
		科学技術社会論	5096
		臨床哲学	5662
		中国哲学	5109
		インド学・仏教学	2125
	グローバルヒストリー ・ 地理学	東洋史学	2138
		西洋史学	5105
		人文地理学	5678
	文学	中国文学	5112
		英米文学	5113
		ドイツ文学	5116
		フランス文学	5117
		テクスト環境論	6413
	比較・対照言語学	比較・対照言語学	5115
日本学専攻	基盤日本学	現代日本学	5130
		日本史学	5101
		考古学	5106
		日本文学・日本語史学	5111
		基盤日本語学	5134
芸術学専攻	アート・メディア論	アート・メディア論	6347/ 6548
			美学・文芸学
	音楽学・演劇学	文芸学	5123
		音楽学	5124
	日本東洋美術史・ 西洋美術史	演劇学	2177
		日本東洋美術史	5126
	西洋美術史	5127	

令和 8 年 6 月発行

大阪大学大学院人文学研究科

豊中事務部教務係

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町 1-5

電話 06-6850-5085・5084

メールアドレス jinbun-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp

<https://www.hmt.osaka-u.ac.jp/>